

広報

ただみ

12
2022 月号
No. 631
令和4年12月10日

第50回 只見町文化祭



今月の表紙

【わたしの自慢のごはんコンテスト表彰式】

第13回わたしの自慢のごはんコンテストの表彰式が11月3日に行われ、小学生下学年の部で3人、上学年の部で6人、中学生の部で5人の児童生徒が表彰を受けました。

また只見町文化祭の会場では、応募作品のレシピが掲示されました。

《特集》

3年ぶりの開催！第50回只見町文化祭	2～3
三条市森町小学校からご招待	4
《News&flash》	6
《町の話》	7～9



第50回 只見町文化祭

3年ぶりの開催!

第50回只見町文化祭

3年ぶりの開催
今年は2会場で

第50回只見町文化祭が、11月3日に只見振興センターとただみ・モノとくらしのミュージアムの2ヶ所を会場として開催されました。昨年、一昨年の文化祭は、新型コロナウイルス感染症の影響により延期され、今年3年ぶりの開催となりました。

開館式では、渡部町長や大塚町議会議長、渡部教育長、只見町文化協会の齋藤会長がテープカットを行い、開催を祝福しました。

メイン会場の只見振興センターでは、町民文芸コーナーや茶道コーナー、ふるさと食堂などが開かれた他、小野川三四さん作の只見線紙芝居が披露され、多くの

人で賑わいました。サブ会場のただみ・モノとくらしのミュージアムでは、朝日小学校児童と只見町昔ばなしの会による「民話茶屋」が開かれ、来場者は只見町の昔ばなしなどに耳を傾けました。

始まりは 産業文化祭

只見町文化祭の第1回は、「産業文化祭」として、昭和46年11月に開催されました。会場では、農作物の品評会や農林業器具の展示、NHKアナウンサーによる文化講演会などが行われ、開催期間中の来場者数は延べ3,000人にもなりました。

次の写真は、当時の只見総合開発センターで行われた第1回産業文化祭の様子です(広報ただみより)。会場産品の即売や町の観光開発等の紹介、郷土芸能大会が行われ、紅葉シーズンも相まって県内外から多くの人々が来場されました。



昭和52年の第7回から「只見町文化祭」と名前を変え、産業主体の文化祭から、芸術や文化部門に主体をおいた文化祭になりました。会場内では、手工芸品や民芸品の展示が行われたり、芸能発表会が行われたりしました。(産業文化祭は、第9回に町制20周年記念として、第19回に町制30周年記念として、第24回から第39回までは5年毎に開催されました)

只見振興センター



1 茶道コーナーでは、お茶を点てる様子を見ながら、お茶をいただきました 2 日本赤十字奉仕団ともしび会によるチャリティーバザーも多くの人が訪れました 3 4 俳句・短歌作品の展示が行われ、来場者は詠まれた背景をしみじみと感じていました 5 手工芸コーナーには、たくさんの作品が並べられました。またデコレーション体験は、幅広い年齢層の方が参加されました 6 健康づくりコーナーでは、わたしの自慢のごはんコンテストの作品紹介や認知症予防の紹介などが行われました 7 ふるさと食堂のわたあめが子どもたちに大人気でした 8 只見高校PRコーナーでは総合的な探究の時間の中間報告などが掲示された他、甲子園選抜旗など甲子園関連についても展示が並べられました 9 SDGs研究として、ブラックバスをどのように地域活性に繋げられるかを発表した南会津高校 堀金康太さん 10 只見線紙芝居は、増席するほど大盛況でした。作者の小野川三四さんは、何度も只見町に足を運び取材を重ね、作品を作られたそうです

ただみ・モノとくらしのミュージアム



1 町民芸術コーナーには、保育所年長児から大人までの多くの作品が展示されました 2 民具体験コーナーではユッコギやゲンベイ、かんじきなどを体験しました 3 只見町昔ばなしの会と朝日小学校の児童による民話茶屋は大盛況でした 4 民芸品コーナーでは、つる細工などの民芸品が展示された他、つる細工体験も行われました



只見町文化祭事業の一環で「第25回芸能発表会」が、11月13日に季の郷湯ら里で開催されました。今回は、コーラスはなみずき、はぎの会、只見音楽研究会、瞳の会、只見つくし会、天領只見仙嶽太鼓保存会の6団体による、美しい歌声や華やかな舞踊、迫力のある演奏などが披露され、来場者を魅了しました。

只見町文化協会 第25回芸能発表会

八十里越開通後、子どもたちの交流にも期待

三条市立森町小学校5年生から「招待」 渡部町長が訪問

招待の手紙が届く

只見町のお隣・三条市にある市立森町小学校5年生から、渡部只見町長宛てに手紙が届きました。

手紙には、「11月6日に『ザ・米フェス2022イン田』を開催します。下田のお米を食べてほしいのでぜひ来てください」と書かれ、町長をイベントに招待するための手紙でした。残念ながら、6日は公務によりイベント参加が叶わ

私たちは2022年11月6日(日)にお米のお祭りを開催します。名前は「ザ・米フェス2022イン田」です。
場所は新潟県三条市下田地区にある、いり湯うていというお稲刈りの足生広場です。
内容は、お米の直売やくりやさなまを売ったデザートや料理、グッズも販売します。イベントは新キャラうたかいや歌、ゲームもあります。下田のお米を食べてほしいのでぜひ来てください。気温差がはげしいですが、お体に気をつけてください。
▲森町小5年生からの手紙(一部抜粋)

ず、町長はイベント翌日の7日に森町小学校を訪問することになりました。

渡部町長が小学校に到着すると、児童や山宮校長、滝沢三条市長のお出迎えを受けました。

ザ・米フェスの報告

児童は、ザ・米フェスで下田の郷土料理ひこぜんに自分たちのアイデアを取り入れたオリジナルひこぜんを販売したことなどを報告しました。他にもお米をイメージしたオリジナルキャラクターの紹介をしました。

また、ザ・米フェスの実行委員長で下田地区出身のシンガーソングライターの本道スズオさんが、自身のオリジナル曲「お米のうた」を只見町に向けてアレ

ンジし、児童と一緒に披露しました。

報告の後、児童は渡部町長に学校の田で育てた「森笑米」を手渡しました。

報告などを受けた渡部町長は「八十里越が開通すれば冬でも行き来ができるようになります。森町小学校と只見町の児童が交流できる日を楽しみにしています」と話しました。



▲オリジナルひこぜんを紹介する児童



▲最後に児童と一緒に記念撮影をしました
(写真手前左：滝沢市長、写真手前右：山宮校長)



▲「お米のうた」を披露する一本道スズオさんと児童。
歌詞の一部をアレンジし披露されました

国道289号
八十里越

○国道289号は、新潟県新潟市を起点とし、福島県いわき市までの総延長約280kmの道路です。このうち、新潟県三条市下田地域から福島県只見町の県境部分(現在も不通区間)となっています。

○国道289号の改築事業は、昭和61年からはじめられ、令和3年に国土交通省が「今後5ヶ年程度での全線開通を目指す」と発表をしました。

○全面開通によって、福島県南会津地域と新潟県央地域間の移動にかかる所要時間は、約79分となります。これにより、救命救急体制の向上が期待されます。また観光においても、新しい観光エリア・ルートを生かすために意見交換や商品開発が行われています。



森町小学校訪問後、ザ・米フェスの事務局を務める「NPO法人ソーシャルファーム三条」を訪問し、同法人に所属する地域おこし協力隊の皆さんと交流しました。

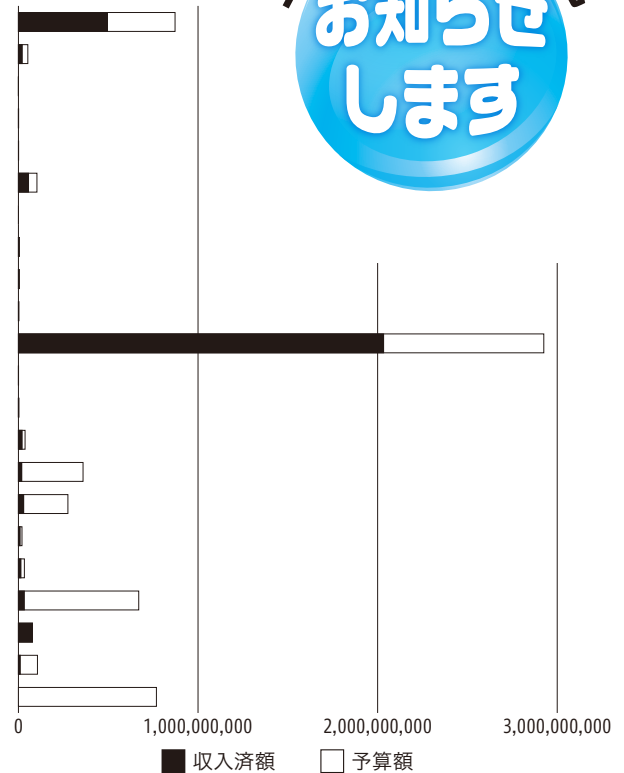
○NPO法人ソーシャルファーム三条：三条市の地域おこし協力隊の約半数が同法人に所属しています。棚田再生プロジェクトなどの農業分野や地域の学校と連携した教育分野など様々な角度から地域活性化を行っています。

上半期財政状況 お知らせ します

◆一般会計（歳入）

（単位：円、％）

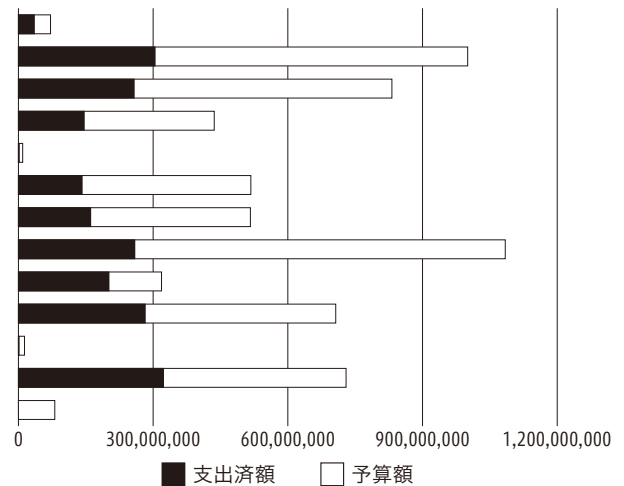
款	款名称	予算額	収入済額	収入率
1	町税	872,048,000	495,760,958	56.85
2	地方譲与税	52,296,000	21,403,000	40.93
3	利子割交付金	240,000	67,000	27.92
4	配当割交付金	1,000,000	252,000	25.20
5	株式等譲渡所得割交付金	1,000,000	0	0.00
6	地方消費税交付金	103,000,000	56,138,000	54.50
7	自動車取得税交付金	1,000	0	0.00
8	環境性能割交付金	5,500,000	1,320,000	24.00
9	法人事業税交付金	4,500,000	4,370,000	97.11
10	地方特例交付金	2,100,000	1,283,000	61.10
11	地方交付税	2,925,219,000	2,033,288,000	69.51
12	交通安全対策特別交付金	600,000	282,000	47.00
13	分担金及び負担金	2,898,000	69,000	2.38
14	使用料及び手数料	36,934,000	20,631,786	55.86
15	国庫支出金	359,741,000	18,584,000	5.17
16	県支出金	275,457,000	29,278,622	10.63
17	財産収入	19,754,000	9,389,181	47.53
18	寄附金	33,101,000	13,944,500	42.13
19	繰入金	669,790,000	33,000,000	4.93
20	繰越金	78,008,000	78,005,549	100.00
21	諸収入	105,897,000	10,433,819	9.85
22	町債	768,300,000	0	0.00
	合計	6,317,384,000	2,827,500,415	44.76



◆一般会計（歳出）

（単位：円、％）

款	款名称	予算額	支出済額	支出率
1	議会費	71,470,000	35,419,195	49.56
2	総務費	1,000,528,000	304,306,228	30.41
3	民生費	831,798,000	257,760,252	30.99
4	衛生費	436,109,000	146,500,779	33.59
5	労働費	9,431,000	1,886,585	20.00
6	農林水産業費	517,620,000	141,839,403	27.40
7	商工費	516,622,000	160,838,348	31.13
8	土木費	1,084,260,000	259,136,751	23.90
9	消防費	318,663,000	201,586,655	63.26
10	教育費	706,702,000	282,404,084	39.96
11	災害復旧費	13,510,000	1,468,500	10.87
12	公債費	729,728,000	322,971,509	44.26
13	予備費	80,943,000	0	0.00
	合計	6,317,384,000	2,116,118,289	33.50



◆特別会計

（単位：円、％）

会計名	予算額	歳入		歳出		
		収入済額	収入率	支出済額	支出率	
1	国民健康保険事業	496,239,000	157,647,133	31.77	131,093,898	26.42
2	国民健康保険施設	435,182,000	96,395,594	22.15	163,076,682	37.47
3	後期高齢者医療	143,000,000	22,841,832	15.97	52,425,266	36.66
4	介護保険事業	795,899,000	372,628,251	46.82	304,279,476	38.23
5	介護老人保健施設	302,994,000	58,176,187	19.20	156,977,261	51.81
6	地域包括支援センター	14,330,000	1,382,470	9.65	8,430,310	58.83
7	簡易水道	172,008,000	32,517,292	18.90	64,603,630	37.56
8	集落排水事業	318,847,000	41,579,097	13.04	111,907,298	35.10
9	朝日財産区	16,600,000	16,456,165	99.13	118,250	0.71
	合計	2,695,099,000	799,624,021	29.67	992,912,071	36.84

町の財政事情がどのような状況にあるのかを理解していただくために、令和4年度上半期（4月1日～9月30日）の予算の執行状況をお知らせします。

歳入の収入済額は9月末までに実際に収入となった金額で、歳出の支出済額は実際に支出した金額です。

これは、只見町財政状況等の公表に関する条例による公表です。

長く続く交流、これからも
永楽台地域ふるさと協議会設立
及び只見町との交流40周年記念

只見町と交流が続く千葉県柏市永楽台地域ふるさと協議会は、昨年度に設立及び只見町との交流40周年を迎えました。これを記念して、10月22日に永楽台近隣センターで記念式典が行われました。

渡部町長は「40年を通して結ばれた固い絆を大事にし、両地域の交流をさらに深めたい」とお祝いの言葉を送りました。

式典では交流の記念として、町から永楽台地域には町産材を活用したベンチ4基を贈り、永楽台地域から町には木製バンフレットスタンドなどが贈られました。

また町は、「あけぼの山農業公園まつり」や「酒井根地区文化祭」に参加し、町のPRなどを通して、柏市との交流を深めました。



▲町産材を利用したベンチで記念撮影をしました

国道289号全線開通を見据えて
「第2回八十里越街道
観光セミナー」開催

「第2回八十里越街道観光セミナー」が10月31日に開催され、観光庁が定める観光カリスマの山田桂一郎氏を講師に講演会が行われました。

山田氏は「まずは地元の人に八十里越を知ってもらうことが大切です。そのためには、エリアのテーマやコンセプトが必要になります」と話しました。

講演会後、3市町の地域事業者と山田氏は、4年後の八十里越開通を見据え、市町を越えた事業連携に向けて、意見交換を行いました。



▲八十里越エリアの地域づくりや地域連携に興味のある方を対象としており、多くの方が参加されました

持続可能なまちづくりのために
町内企業団体と町ESD推進委員会
ESDパートナー締結

町内に事業所を持つ企業・団体9者と只見町ESD推進委員会が、10月25日にESDパートナー締結式を行いました。

この事業は、町内企業・団体がESDパートナーとなり、実践的なESDの場を充実させることなどを目的としています。

締結式には、ESDを通して、SDGs達成に向け地域と連携をしながら、実践的な取組みを行っている只見中学校SDGs委員会の生徒も出席しました。



▲締結式に出席された町内企業の皆さんと只見中学校SDGs委員会の生徒

ESD
パートナー企業・団体

- 株式会社 会津工場
- 只見町建設業協会
- 合同会社 ねっか
- 有限会社 さんべ農園
- 株式会社 RISESAPEUR
- 森林の里応援団
- 電源開発株式会社
 田子倉電力所
- 只見町商工会
- 株式会社 東邦銀行
 只見支店

冬期の生活を守る
除雪会議・除雪機械始動式

除雪会議が、11月14日に開かれ、除雪路線の確認などが行われました。

また、会議終了後には、今期の除雪業務の安全祈願と除雪機械の始動式が行われました。除雪機械の始動式では、ドーザー除雪車とロータリー除雪車が並べられ、職員の指揮で始動を行いました。

除雪期間は、除雪車による騒音や置き雪などご迷惑をおかけいたしますが、安全な道路を確保するため大切な作業です。ご理解・ご協力をお願いいたします。



▲除雪関係者の皆さん、今シーズンもよろしくお願いいたします

ふくしま駅伝2022 只見町チーム 力走!

「第34回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）」が11月20日に開催され、只見町チームが全16区間（95.0km）を駆け抜けました。

只見町チームは、中学生や高校生を中心に、大東一臣さんらベテラン層が若手を支えるチームです。11月5日に行われた団結式では、監督を務める目黒英樹さんが「若い力を発揮して大会を盛り上げたい」と決意表明をしました。

最後までタスキを繋ぎ、タイム6時間22分38秒、総合順位50位、町の部26位という成績を取めました。



▲団結式で心を一つにした選手たち

夫婦の絆50周年

「しあわせ金婚夫婦表彰式」開催



▲これからも夫婦仲良く幸せに長生きしてください

只見町老人クラブ連合会が主催する「しあわせ金婚夫婦表彰式」が11月8日に季の郷湯ら里で開催され、金婚を迎えられた町内ご夫婦23組のうち19組が出席しました。

表彰式では、表彰伝達や記念品の贈呈などが行われた後、矢澤照嘉さん・ワカ子さん夫婦が受賞者を代表し謝辞を述べました。矢澤さんは「夢のように過ぎ去った50年、振り返った時に伴侶の存在は大きく感じました。お互いに感謝しています」と話しました。

火災予防を呼びかける

只見町内「防火パレード」開催

南会津地方広域市町村圏組合消防本部の只見出張所と只見町消防団により、防火パレードが11月9日に只見町内で行われました。

目黒消防団長から訓示を行った後、只見出張所の五十嵐所長が「3年ぶりの防火パレードになります。火災が発生しやすい季節にもなりましたので、パレードで全町的な呼びかけと消防団の皆さんの集落内での呼びかけとそれぞれが重要です。よろしくお祈りします」とあいさつしました。

ストーブなどの暖房器具やコンロ等、火の取扱いにはご注意ください。



▲パレードに出発する消防車両

祝・100歳おめでとうございます

目黒マユミさんに知事賀寿を贈呈

目黒マユミさん（石伏）の100歳賀寿を記念した知事賀寿贈呈式が、11月9日に特別養護老人ホーム只見ホームで開かれました。

賀寿贈呈式では、賀寿状や木杯の伝達が行われ、ご家族や施設職員から記念の花束が贈られました。また、ご家族からは賀寿記念のだるまも贈られ、マユミさんご自身が筆をもち、目入れをしました。

マユミさんの長寿の秘訣は、「食事を3食しっかりとたべること」とのことです。

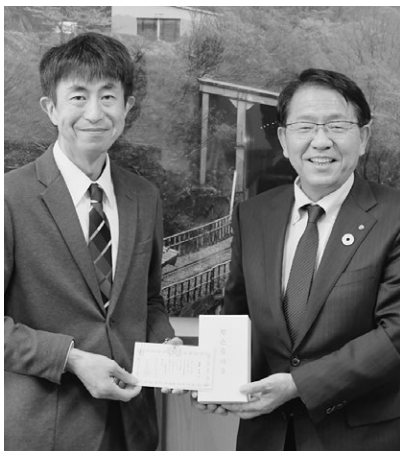
これからも長生きしてくださいね。



▲ご家族と記念撮影をしました

献血活動へのご協力ありがとうございます

「令和4年度献血団体・個人有功章」受章



▲個人銀色有功章を受章した佐藤先生



▲団体銀色有功章を受章した株式会社津工場の鈴木社長

多年・多回にわたる継続的な献血活動が認められ日本赤十字社から、株式会社津工場が献血団体銀色有功章（献血協力15年以上）、朝日小学校の佐藤幸也先生が個人銀色有功章（献血回数70回以上）を受章しました。

株式会社津工場の鈴木直記社長と佐藤幸也さんは、11月9日に役場を訪れ、受賞の報告をしました。

多年・多回にわたり、献血活動にご協力いただきまして、ありがとうございます。

歌と映像で命の尊さと平和を学ぶ

講演「地球のステージ」開催

命の尊さや平和の大切さを伝える講演「地球のステージ」が11月9日に只見中学校で開催され、町内小学校5・6年生や只見中学生、地域住民等が参加しました。この講演は、只見町教育委員会がESDの一環として開催したものです。

講師の桑山紀彦氏は、紛争や貧困の中でも強く生きていく人々や自身の経験などについて、音楽と映像を通して紹介し、「どんな人になりたいか、どんな人でありたいかが大切です。皆さんもぜひ見つけてください」と話しました。



▲桑山氏は世界中で医療救援活動を行う中で、見たものや感じたものを児童や生徒に伝えました

心を一つに音を楽しみました

「第59回只見町小中学校音楽祭」開催

只見町教育研究会の主催で「第59回只見町小中学校音楽祭」が11月10日に只見中学校で開催され、町内小学校3・4年生と只見中学校3年生が合唱や演奏を披露しました。

朝日小学校は合唱「ありがとうの花」とリコーダー演奏「聖者の行進」、只見小学校は合唱「おはよのエール」とリコーダー演奏「花笛」、明和小学校は合唱「ツバメ」と合奏「W/X/Y」、只見中学校は合唱「虹」を披露しました。

心を一つにしたハーモニーは、体育館に広がって、保護者や参加した児童生徒に響き渡りました。



▲只見中学生による堂々とした合唱

今年は只見天領そばのお披露目も

季の郷湯ら里「新そばまつり」開催



▲来場された皆さんは新そばに舌鼓をうちました

季の郷湯ら里の主催で（共催：只見町そば部会・JA会津よつば只見支店・只見町）「新そばまつり」が、11月12日に開かれ、町内外から多くの方が参加しました。

今年は只見天領そばのお披露目も兼ねており、この日提供されたそばは、お持ち帰りも含めて全て只見天領そばでした。

参加者は「素敵なストーリーのある只見天領そばが食べられて、足を運んだ甲斐がありました。只見のそばは、味も香りも楽しめて満足です」と話しました。

心に響く映画をみんなで一緒に

「第1回只見ちょうみん映画祭」開催

「第1回只見ちょうみん映画祭」が、11月26日に季の郷湯ら里で開催され、午前と午後の部合わせて、約200人が参加しました。今回は、映画「瞽女GOZE」が上映されました。

10月28日に急逝された瀧澤監督に代わり、同実行委員会長を務める渡部町長が「瀧澤監督が何を伝えたかったのかを感じていただければ幸いです」とあいさつをしました。

上映後には、小林ハル氏の幼少期を演じた川北のんさん、母役を演じた中島ひろ子さん、劇中で歌われた瞽女歌の指導を行った小林ハル氏の弟子の萱森直子さんによるトークショーが行われました。

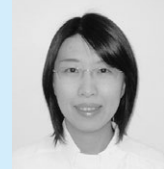


▲トークショーで川北さんは「演じる中でハルさんの自分を信じて生きる姿が素敵に感じました」、中島さんは「大変強い親子愛を感じてほしいです」と話しました。トークショー後には萱森さんが、劇中歌を演奏しました

広報ただみ診療所

健やかな口腔機能は健康寿命を延ばす！ ～オーラルフレイルを知ろう～

朝日診療所 歯科 齋藤 さゆり



オーラルは口、フレイルは虚弱。固いものが食べづらくなったり、滑舌が悪くなったり、加齢に伴うお口の衰えが、栄養不足や気持ちの落ち込みなどを引き起こす現象やその過程のことを「オーラルフレイル」と言います。

「健康」と「要介護」の間には、筋力や心身の活力が低下するフレイルと呼ばれる中間的な段階があるとされています。その手前の前フレイル期にオーラルフレイルの状態は現れます。

食事でよく食べこぼすようになった、固いものが噛めなくなり、むせることも増えた。さらに滑舌も悪くなったようだ…。ささいな口のトラブルですが、こうした状態が続くようであれば、それは歯や口の働きの軽微な衰え、つまりオーラルフレイルの可能性があります。オーラルフレイルの症状は“老化のはじまりを示すサイン”として注目されるようになってきました。

歯や口の働きは、「社会とつながる」ための重要な役割も担っています。食卓を囲み食事をする、仕事や趣味やボランティアなど、楽しく会話すること、からだを動かすこと、「口腔機能」に関心を持って、「社会とのつながり」も維持すること、そうしたことが要介護になりにくい体となり、健康寿命をのばすコツと考えられるようになってきました。

歯を失う二大疾患は歯周病とむし歯です。歯を失わないために毎日の歯磨きと定期的な歯科検診が重要です。抜けてしまった箇所があれば義歯などで噛める状態にしておきましょう。口腔機能が衰えると、話すことが減るだけでなく、栄養状態の悪化で筋肉がやせ、体力が低下して外に出かけることも少なくなってしまいます。

1. 口腔の健康に関心を持つ
2. 歯を失わないように正しい歯磨きをする
万が一失った場合は義歯などで噛めるように補うことも重要
3. 歯科医院で定期的な検診を受ける

長い人生をすこやかに生き抜くために“オーラルフレイル”対策に取り組んでみてください。

地域おこし協力隊として vol.96

只見町教育振興協力隊 向坂 雄一郎



只見町の皆さま。平素より大変お世話になっております。早いもので、私たち一家がこの只見町に移住して間もなく2回目の冬を迎えようとしています。こちらに来る前は、茨城県に住んでおりました、関東圏の利便性をたっぷりと享受した生活を送っておいりましたので、こちらに移住するという決断に不安や後悔がなかったといえは嘘になります。30年近く務めた前職を早期退職し、この只見町で新しい家族の生活を築いていけるのか、冬の厳しい環境に適應できるのか、万が一なじめずに茨城に帰ることがあったとして、再就職はかなり厳しいであろうとか、失敗したら後がないという、ある意味「背水の陣」のような気持ちでこの地にまいりました。これは地方移住を考える人の共通の心理かと思えます。

では、実際に只見町で暮らし始めてどうだったかという、今は「限りなく正解であった。」と感じています。暖かで人情味のある町の皆さまに、ことあるごとにお世話になり、毎日変化する雄大としか表現のしようがない自然の中で過ごす毎日は、首都圏の生活ではなかなか味わえない「人間らしさ」に溢れています。「食」一つとっても、春には雪解けの喜びとともに、家の周りに生えるコゴミやワラビに舌鼓をうち、初夏からは、おすそ分けでいただいた取れたての野菜のおいしさに驚き、秋にはきのこ、極上の新米や新そば、冬は白菜や大根での鍋など、口の中が年中幸せでいっぱいです。家の周りを散歩しても、毎日表情を変える山々の緑や、用水を流れる清冽な水、頭上に舞うトンビなど、飽きることはありません。

また、集落の普請にも参加させていただいていますが、堀はらいや草刈りなど、作業自体は大変でも、地域の皆さんとの語らいや、終わった後に見上げる空に、このうえない充足感と達成感を感じます。

このように、町の皆さまにはお世話になりっぱなしで感謝の気持ちしかございません。自分としては、「地域おこし協力隊」として、少しでも町のためになることを考え、活動していきたいと考えています。今後ともどうぞよろしく願っています。

只見町のユネスコエコパークの取り組み①

地域資源と伝統技術を継承・発展させる
「自然首都・只見」 伝承産品

今回は、只見町が行っている地域振興に関するユネスコエコパークの取組を紹介します。

町の伝統的な生活文化、産業技術、工芸などは、地域の自然環境や天然資源の持続的な利活用モデルであり、只見ユネスコエコパークに認定された一つの大きな要件となっています。

これらを継承・発展させ、地域特性を活かし、さらなる産業化と地域ブランド化を推進することは、ユネスコエコパークの「人と自然との共生」という理念・目的を実現するばかりでなく、町の活性化にもつながるはずです。

そこで、町は、ユネスコエコパーク関連事業として地域の天然資源や農産物、伝統技術を使用した産品を「自然首都・只見」伝承産品として認証し、ブランド化を進めています。これまでに認証された伝承産品は、マタタビなどの植物を利用した編み組細工、ブナ林の蜜源植物から得られたハチミツ、ブナの葉の染物、オオバクロモジの箸、ゼンマイ綿の手工芸品、あめよばれの飴、はぜかけ米など33品があり、町内23の事業者が関わっています。こうした産品は、既存の商品が認証されるものもあれば、新たに開発されたものもあります。最近では、途絶えてしまっていた文化であるゼンマイ綿を使った伝統の手毬（てんまり）がストラップなどの小物として復活しています。

「自然首都・只見」伝承産品は、只見ユネスコエコパークの代表的なお土産物として町内施設で販売されています。伝承産品は単なるお土産物に留まらず、只見ユネスコエコパークの地域資源の伝統的な利用文化の継承と発展、自然環境や生活文化に関する情報の発信、地域内の経済循環に貢献し、只見ユネスコエコパークの顔とも呼べる存在です。



◀「自然首都・只見」伝承産品

はちみつ（トチノキ、クリ、オオバボダイジュ、オオウラジロノキ、ハリギリ）、凍み大根、ぜんまい綿毛糸の手工芸品、マタタビ・アケビなどの編み組細工、はぜかけ米、どぶろく、かじご焼き炭の消臭剤、あめ、こくわジャム、山なしジャム、くろもじの楊枝と箸、木工製品、干しわらび、ブナ染めの手工芸品、じゅうねん油、じゅうねん巻き、青豆みそ、クサカップ、赤石のアクセサリ、只見の手毬



▲ 認証された伝承産品につけられる
ブランドロゴマーク

「自然首都・只見」伝承産品は、町内施設（ただみ・ブナと川のミュージアム、ふるさと館田子倉、季の郷湯ら里、只見町インフォメーションセンター など）で販売されています。



町民文芸

只見短歌会 令和四年十一月詠草

新聞を前に眼鏡と拡大鏡揃えても読めぬ我が老深む
馬場 八智

数十年思ひ綴りし亡き父母の日記に夫は深く頷く
目黒 富子

車窓より眺む山並紅葉や川の流に鴨の群れ見ゆ
関谷登美子

今年のシクラメンの花秋の日を浴びて今年も窓際に咲く
新国由紀子

中学の孫にパソコン教はるる夫との会話厨にて聞く
渡部ヨリ子

洗髪から足の先まで丁寧に風呂入れくれし介護士優し
新国 洋子

(出詠順)



只見俳句会 十一月定例会

日高俊平太 指導

凜とした母の笑顔や七五三
雨に濡れ山茶花散るや廃校舎
信

部活動終えてはおぼる栗の飯
間引菜や大づかみして日の温み
都

銀杏を踏まじと歩む史跡かな
冬陽あび水鳥影引く古戦場
一 恵

秋雨の畑の中に椅子ひとつ
錦秋の裏山褒めて立ち話
真理子

只見線再開秋の山を抜け
喉渴き山の葡萄へ手を伸ばす
紺 青

冬来たる昭和ひとけた幾昔
作業着を脱いで一葉の紅葉かな
恒 夫

傾きし日差しや雨後の草紅葉
子の住まい年々遠くなりし秋
礼

おゆうぎ会着ぶくれし祖母涙して
残し居くざる菊今日は切ろうかな
一 穂

朝露に濡れし芒の輝けり
ベビーカー急ぎ押す手に秋の雨
修 一



今月のお知らせ

お知らせ

人権問題相談窓口

いじめや差別など人権上問題ではないかと感じたことや、困りごと、心配ごとなどについて、電話相談を実施していますので、次のダイヤルにお電話ください。

秘密は守られます。相談は人権擁護委員及び法務局職員が対応しますので、お気軽にご相談ください。

【お問合せ先】

- ・みんなの人権110番
0570-0003-110
- ・子どもの人権110番
0120-0007-110
- ・女性の人権ホットライン
0570-0070-810

電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
地域創生課	
創生企画係	
ユネスコエコパーク推進係	☎82-5220
町民生活課	
税務係	☎82-5110
町民係	☎82-5100
保健福祉課	
保健係	☎84-7005
福祉係	☎84-7010
農林建設課	
農林係	☎82-5230
建設係	☎82-5270
観光商工課	
観光係 商工係	☎82-5240
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所 (歯科)	☎84-2221
こぶし苑	☎84-2612
只見振興センター	☎84-2101
朝日振興センター	☎82-2141
明和振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

税 今月の納期

12月26日までに
納めましょう

- 国民健康保険税(6期)
- 水道使用料(3期)
- 農集排使用料(12月分)
- 介護保険料(6期)
- 後期高齢者保険料(5期)

【相談時間】
年末年始を除く平日
8時30分～17時15分

自筆証書遺言書保管制度 説明会 開催

令和2年7月10日から始まった自筆証書遺言書を法務局で保管する制度について、説明会を開催します。

福島地方法務局を拠点として、相馬・郡山・白河・若松・いわきにある支局をWEB会議システムでつなぎ、本局において職員が説明している様子を支局に設置した画面から見ていただきます。

その後、説明内容等についての質疑応答につきまして、各支局の職員が対応いたします。

参加は無料ですが、事前に申し込みが必要となります。参加希望の方は問合せ先までご連絡ください。

【日時】
令和4年12月23日(金)
令和5年1月24日(火)
2月20日(月)
各日、10時～1時間程度

【会場】

福島地方法務局(10名程度)
相馬支局、郡山支局、白河支局、若松支局、いわき支局(5名程度)

【予約・問合せ先】

福島地方法務局供託課
☎024-534-1971
受付時間(土日祝除く)
9時～16時

借金の無料相談会 開催

財務省福島財務事務所では、専門相談員が家計や借金の状況等を伺い、アドバイスを行う他、必要に応じて弁護士などの専門家に引継ぎを行う

相談会を開催いたします。借金返済が困難な方や借金にお悩みの方など、どなたでもご利用いただけます。1人で悩まず、お気軽にご相談ください。なお、相談は予約制となります。

【日時】

令和4年12月20日(火)
13時～16時

【会場】

会津若松市追手町7-5 福島県会津若松合同庁舎 本館1階会議室

【予約・問合せ先】

財務省福島財務事務所 理財課
☎024-533-0064
(多重債務者相談窓口専用)

・受付時間(土日祝日除く)

8時30分～正午、13時～16時30分
※原則予約制となりますが、受付状況により当日受付が可能な場合もあります。まずはお電話ください。



広報ただみ町長室

只見町長 渡部 勇夫

◆第34回ふくしま駅伝大会に只見町チームが
出場し、立派に完走しました。

他市町村チームのメンバーには、実業団
や大学駅伝、高校駅伝の現役選手が多く出
場している中で、只見町が単独チームとし
て、対等に出場し完走したことは本当に素
晴らしいことだと思います。

選手や役員の皆様はじめ、ご家族の方
ご努力に敬意を表するとともに心から感謝
申し上げます。

来年も期待しています。本当にお疲れ様
でした。

◆三条市の森町小学校5年生からイベントの
招待状が届きました。

自分たちが作った下田、三条、新潟のお
米を食べてほしいという企画です。

当日は公務が重なっていたので、翌日伺
いました。

5年生の皆さんは、三条市長さんと共に
大歓迎してくれました。お米の話を聞かせ
てくれたり、歌やダンスを披露してくれた
り、他にゆるキャラも登場し、子どもたち
の明るさと熱気に感動しました。また、お
土産にお米をいただきました。

只見町からは六角精児さんの大好きな三
石屋さんのそぼろパンを持参したところ、
子どもたちは大変喜んでくれました。

4年後、国道289号八十里越で繋がる
楽しみが、またひとつ増えました。

町長スケジュール〈11月分〉

- | | | | |
|-----|---|-----|---|
| 1日 | 福島県生活環境部長訪問（福島市） | 15日 | 全国治水砂防促進大会、全国過疎地域連盟定期
総会、ダム・発電関係市町村全国協議会理事会、
合同勉強会（東京都） |
| 2日 | 南会津地方植樹祭（南会津町） | 16日 | 観光庁観光地域振興部訪問（東京都） |
| 3日 | 只見町文化祭 | 17日 | 全国町村長大会（東京都） |
| 4日 | 猟友会南会津支部長来庁、東北電力(株)会津若松
支社副支社長他来庁、J R東日本(株)八王子支社
企画総務部人事ユニットリーダー来庁 | 21日 | 只見町議会11月会議、只見町、金山町、昭和
村消防相互応援協定に係る打ち合わせ会議、滝
調整池堆砂対策連絡協議会事前説明 |
| 5日 | J R只見線「小出～大白川間開通80周年記念」
並びに「全線運転再開記念」式典・祝賀会（新
潟県魚沼市） | 22日 | 自然首都・只見満喫チャレンジキャンペーン抽
選会、南会津建設事務所他来庁、実施計画ヒ
アリング、第三セクター経営検討委員会報告書
提出委員長来庁 |
| 6日 | 南会津地方環境衛生組合職員採用候補者面接審
査（下郷町）
南会津地方広域市町村圏組合職員採用候補者第
2次試験（南会津町）、 | 24日 | 只見・金山・昭和・三島県道改修促進期成同盟会
福島県要望（南会津町・会津若松市・福島市）、
一級河川只見川河川整備促進期成同盟会福島県
要望（福島市） |
| 7日 | 新潟県三条市立森町小学校訪問、NPO法人ソー
シャルファームさんじょう訪問（新潟県三条市） | 25日 | 湯川村合同視察研修（ただみ・モノとくらしの
ミュージアム他）来町、12月補正予算町長査
定、只見町行政機構改革審議会 |
| 8日 | 只見町金婚夫婦表彰式、(株)ジェイアル東日本
企画営業企画部来庁 | 26日 | 第1回只見町民映画祭 |
| 9日 | 百歳賀寿贈呈式、土地連南会津支部来庁、献血
団体・個人有功章伝達式及び受章報告（株式会
社社会津工場、佐藤幸也さん） | 28日 | 南会津地方環境衛生組合議員研修（～29日
横浜方面） |
| 11日 | 県道小林館の川線改良促進期成同盟会福島県要
望（福島市） | 30日 | 只見町保育を考える懇談会報告委員長来庁、地
域活性化企業人(株)DMM.com組織管理本部総
務部長面談、福島民友新聞社企画推進部長他来
庁、只見郵便局長来庁、J F Eエンジニアリン
グ(株)東北支店環境営業室長来庁 |
| 12日 | 只見新そばまつり | | |
| 13日 | 只見町文化協会芸能発表会 | | |
| 14日 | 除雪会議、除雪機械始動式、只見地区内水面对
策に係る要望書提出只見区長他来庁、政策調整
会議、田中耆征映画監督他来庁、歌と踊りのチ
ャリティショー「つながれつながれ只見線」 | | |

町民の消息

(10月26日～11月25日届出分)敬称略

■お誕生おめでとうございます

菊地 玲那 (女/伸仁・トリンプロスベン) 黒谷
れいな あいと リンパンゴック
 川元 愛翔 (男/竜也・飛鳥) 蒲生

■おくやみ申し上げます

山内 利雄	92歳	小林
渡部 タミエ	96歳	福井
鈴木 律子	89歳	只見
星 広和	44歳	杉沢
佐藤 美代子	94歳	館ノ川
飯塚 トクノ	100歳	大倉
酒井 タミ子	95歳	黒沢
梁取 キミ	92歳	小林
本名 昭	84歳	福井

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和4年11月1日現在

人口	3,834 (-16)
男	1,901 (-6)
女	1,933 (-10)
世帯数	1,591 (-9)
高齢化率	48.5%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 6 転出 15 出生 1 死亡 8

あとがき

▽あつという間に12月が来ました。皆さんにとって、今年はどうな一年でしたか。只見町にとっては、只見高校甲子園出場、河井継之助を主人公とした映画の公開、只見線全線運転再開等々、町の名前が広く知られる1年になったと思います。▽今年1年大変お世話になりました。来年も引き続き、広報ただみをよろしくお願いいたします。

(小林)

町民憲章

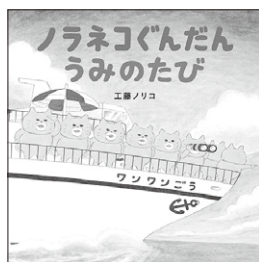
- ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

朝日振興センター 図書紹介

朝日振興センター図書室
☎84-2111

おすすめ新着図書

★ノラネコぐんだん うみのたび



工藤ノリコ (白泉社)
 「ニャー、うみのたび おもしろそう」。
 ノラネコたちがいつもより間近で覗いているのは、出港直前の豪華クルーズ船。

大ヒット絵本シリーズの誕生10周年・10作目にあたる本作は、海が舞台のスペクタクル・ファンタジー!

にぎやかな船の旅と、毎度おなじみのあのシーン(今回はこうきたか!)をお楽しみください♪

★嘘つきジェンガ



辻村深月 (文藝春秋)
 『2020年のロマンス詐欺』『五年目の受験詐欺』『あの人のサロン詐欺』詐欺をめぐる3つの物語。

見栄、不安…ほんの出来心から積み上げてしまった嘘。一線を越えたら、もう戻れない。それぞれの心理を巧みに描く小説集です。

○朝日振興センターではリクエストを随時受付しています。読んでみたい本があれば、ぜひリクエストしてください。



ヨシガモ

(学名: *Anas falcata*)

(写真・文 太田祥作)

【カモ目カモ科】



▲ 左が雄、右が雌。雄の頭部は見る角度によって赤紫色に光る

只見町では晩秋から初冬にかけて、渡り鳥のカモが観察しやすくなります。只見地区の「只見湖」と塩沢地区の「滝湖」は、どちらも比較的水深が浅い上に、餌も多いことから、多くのカモが滞在します。ヨシガモもまた、晩秋から姿を見せるカモの1種です。ヨシガモは、北海道やユーラシア大陸の寒冷地で繁殖し、本州以南へは越冬のため渡来します。只見町で見られるカモの中では少数派ですが、雄の美しい羽色などから存在感のある種です。雄の特徴として、「ナポレオン帽」と形容される金緑色の頭部と、体の後ろに長く垂れ下がった白黒の三列風切が挙げられます。頭部がこのような形をしているのは、後頭部の羽毛が長く発達して「冠羽」を形成しているためです。一方、雌は全身が茶褐色の羽色をしており、地味な印象を受けます。

カモは種によって餌の好み異なるため、それぞれの種で決まった餌の採り方をします。ヨシガモの場合は植物食で、イネやヒエの仲間などの種子や、クロモなどの水草、また、海藻も餌にします。水面を泳ぎながら種子を啄んだり、浅く潜って水草を採り、時には陸上を歩いて草を食べたりします。このような野生のカモが自然の餌を採ることのできる環境が保たれることが大切です。なお、餌やりは鳥インフルエンザの感染拡大や、水質悪化、鳥の生態の攪乱など様々な悪影響がある行為なので、やめましょう。

只見町ブナセンターからのお知らせ

「ただみ・ブナと川のミュージアム」では下記企画展を開催中です。
皆様のお越しをお待ちしております。

企画展「自然素材を活かす技

～木地、編み組、草木染めと伝承製品の魅力～

会 期：2022年10月29日(土)～2023年3月27日(月)

場 所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー